

⑥観光とのタイアップによる販路の拡大

## 持続可能な食料自給を学び体感する渥美半島周遊観光ツアーの企画・開発・販売事業

道の駅を起点・終点とし、①フードロスの削減の取組、②無加温栽培等による果樹観光農園、③閉鎖型循環濾過養殖システムによるサーモン養殖場等を巡り、ツアー参加者が食の循環システムの重要性等を学ぶ体験・交流型の渥美半島周遊観光ツアーを企画、販売する。

### 連携体

**農林漁業者** (株)林養魚場(法人番号1380001010380)(内水面養殖業)

・サーモンの養殖技術を学び、循環型養殖施設を見学するツアー商品を(株)田原観光情報サービスセンターに提供する。

**中小企業者** (株)田原観光情報サービスセンター(法人番号 2180301007740)(旅行業)、小川政行(植物園)

- ・小川政行は果樹観光農園に関する知識・栽培等ノウハウ、果樹に触れる体験ができるツアー商品を(株)田原観光情報サービスセンターに提供する。
- ・(株)田原観光情報サービスセンターはツアー全体のマネジメントを行い、新たな観光需要を開拓する。

**サポート機関等** 田原市、(独)中小企業基盤整備機構中部本部

### 連携の経緯

SDGsへの関心が高まる中、(株)田原観光情報サービスセンターが農業体験や学習をしたい消費者のニーズに応えるため、農園観光資源を有する小川政行及び最先端の技術を活用した循環型養殖施設を有する(株)林養魚場と連携して、両者を訪問先に組み込んだ体験・交流型観光プランを通じ、持続可能な食料自給を意識した観光ツアーの商品化に至った。



【田原観光情報サービスセンター めっくんはうす】



【林養魚場サーモン養殖プラント】

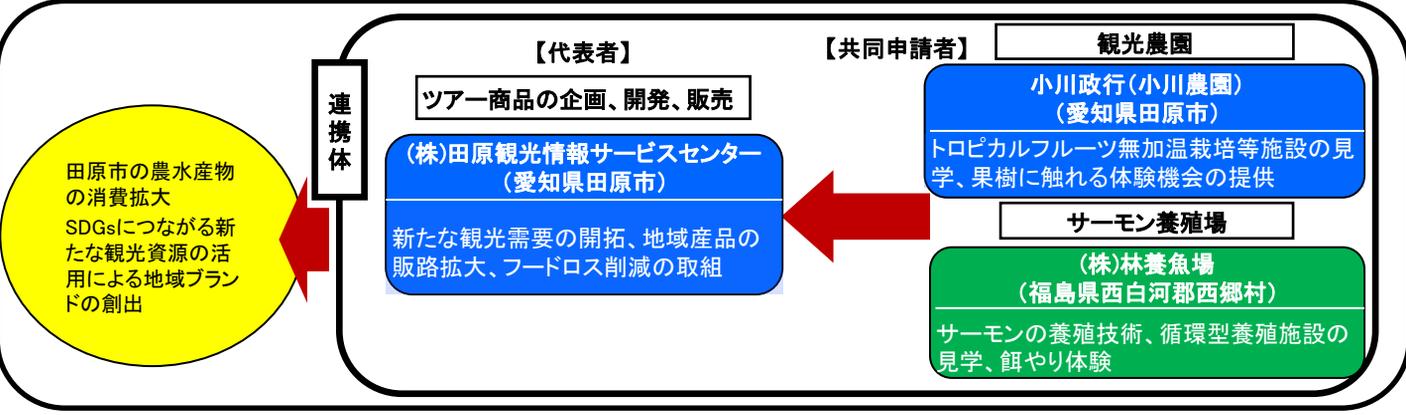
### 連携に当たっての課題や工夫等

ツアー参加者が楽しみながら学び体感できる、①果樹の挿し木体験、②サーモンの解体ショーと餌やり体験、③地元野菜を使用した商品の加工施設見学により、SDGsの目標と持続可能な食料自給を学ぶ。

日本有数の農業生産額を誇る田原市の強みを活かし、点在している観光施設と農業を面的につなげる観光プランを販売することで、地域経済の活性化を図る。



【小川政行 観光農園】



### 連携による効果

**農林漁業者** 林養魚場は5年で約4,900万円の売上増加

・サーモンの餌やり体験、試食販売することで、売上増加と利益率の向上

・小川政行は5年で約380万円の売上増加

・田原観光情報サービスセンターは5年で約3,170万円の売上増加、新たな地域ブランドの創設

・田原市産農水産物の購入を促進し、地域産品の認知度を高め、新たな地域ブランドを創出

### 代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社田原観光情報サービスセンター  
 TEL：0531-23-2525  
 E-mail：info@tahara-michinoeki.com

所在地：愛知県田原市東赤石5-74  
 FAX：0531-23-2526  
 ホームページ：http://tahara-michinoeki.com/corporate